

令和6年度 第3回 浜松市立細江中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月21日（金） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 浜松市立細江中学校 会議室
- 3 出席委員 山本 浜雄、吉田 真譽、加茂 里佳、金田 洋之、佐藤 憲孝、  
太田 かおり
- 4 欠席委員 内山 有香、白柳 恵美、山本 武志、船越 こず恵
- 5 学 校 遠藤 健司（校長）、久保 賢治（教頭）、宮下 友樹（主幹教諭）、  
鈴木 小百合（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 鈴木 小百合

8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、委員のみなさんから山本会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

9 協議事項

- （1）ふるさとキャリア教育について
- （2）学校関係者評価
- （3）令和7年度学校経営方針
- （4）学校運営協議会の自己評価

10 会議記録

司会の山本会長から、委員総数10人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）ふるさとキャリア教育について

10月に参観したホソフェスの発表の中から5つの代表グループが決定し、12月にまちづくり協議会で発表が行われた、なお代表選考には委員のみなさんの意見も参考にさせていただいた、と議長より報告があった。現在「みんなの提案を実現させよう」プロジェクトを立ち上げ、3つのプロジェクトが活動を始めた、と現段階での進捗状況について教頭より説明し、委員からは以下の発言があった。

- ・まちづくり協議会に出席したが、素晴らしい発表だった。地域をどうやったらPRできるか真剣に考えられていた。中学生がここまで考えられるのは素晴らしいとまちづくり協議会のみなさんも言っていた。（山本会長）
- ・今回上手くいけば実績ができるので、次年度からはもっと早い段階で提案実現に向けてすすめられるのか。（佐藤委員）  
→今年度は後援会費から予算を確保し、3年生が卒業するまでの年度内に提案を実現させたいと考え進めてきた。次年度も下級生が追研究するなど、中学生が地域を盛り上げていけるようにしていきたい。（教頭）
- ・細江町内の地域の祭りなどで出店してほしいという声も上がっている。学校の活動がどんどん広まっていくといいと思う。（山本会長）
- ・やっと念願が叶った。一歩進めた。3年生が卒業するまでに提案を形にできてよかった。

中学生を見て、小さい子たちは自分もやってみたいと思ったり、地域の人たちは子供たちの力になりたいと思って協力したりする、そんな環境づくりをしたかった。中学生の活動を身近な存在として考えるような環境づくりができればいいと思う。今後も協力していきたい。(加茂委員)

- ・地域みんなでホソトレを支援していきたい。今後、生徒たちが魅力ある細江のまちづくりに貢献してくれるのではないかと期待したい。(山本会長)

## (2) 学校関係者評価

主幹教諭より、学校関係者評価や「学校いじめ防止基本方針」に基づく取り組み状況や達成状況について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・アンケート結果を見ると、おおむね学校に対してよい評価をされていると思う。(山本会長)
- ・細江中学校のいじめについてももう少し詳しく教えてほしい。(山本会長)
  - いじめ対策委員会を毎週行い、早期に組織的に対応している。毎朝生徒指導主事や校長が校門で生徒の様子を確認している。また、生活アンケートを学期ごとに行い、結果を教員みんなで共有するようにしている。生徒に寄り添った対応をさらにするために傾聴の研修も行った。(主幹教諭)
- ・担任の先生、他の先生、カウンセラー、窓口は3つなのか。(吉田委員)
  - 担任の他に養護教諭が寄り添っていることも多い。(主幹教諭)
- ・アンケートの項目は、学校内でのいじめが分かるなど内容は決まっているのか。(金田委員)
  - 浜松市が作成した。教育委員会もすぐに共有できるようになっている。(主幹教諭)
- ・家庭内のことも拾い上げられるのか？(金田委員)
  - 家庭内で心配なことがあれば分かるようになっている。(主幹教諭)
- ・家庭内の問題は分かりづらいと思うが、そういったことにスポットライトをあてると学校以外のことが多いかもしれない。そういうことが分かるのはいいと思う。(金田委員)
  - 学校だけでなく地域社会とも連携して対応していくようにしている。(主幹教諭)
- ・中学生は地域でもあいさつしてくれる。あいさつ運動は大事だと思う。(山本会長)
- ・いじめの話は我々には入ってこないの、きちんと対応してもらっていると分かると安心する。(山本会長)

## (3) 令和7年度学校経営方針

校長より、来年度の学校経営方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ウェルビーイングとは何か。(佐藤委員)
  - 多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなるための教育の在り方。ウェルビーイングを向上させるための閣議決定もされた。(校長)
  - 困難な状況に直面してもしなやかに柔軟に対応する力も大切。今まで以上に家庭とコミュニケーションを密にして対応していくことが大切。(校長)
- ・学習面でも家庭の力は大切だと思う。(太田委員)

・学習面での教師と生徒の評価の乖離は、生徒が分からないことを分かっていないことが判明したアンケート結果だと思う。(佐藤委員)

→小中学校で連携して、保護者に投げかけながら対応していかなくてはならない。ICT機器は適切に使えば学力が伸びていることもお知らせしたい。バランスが大事。対話など人間同士のコミュニケーションも大事。時間短縮できることはしていく。(校長)

・対面ではないことが増えている。それが得意な子もいるが、時間を削った分だけ何かを犠牲にしている。対面だと目線や仕草などでいろいろ分かることもあるが、タブレットに書き込むだけだと一方通行。コミュニケーションの取り方が難しい。(佐藤委員)

・ホソトレでは、地域の人とコミュニケーションをとるなど持っていない力を伸ばすことができると思う。すごい取り組みだと思う。(吉田委員)

・ホソトレに携わっていることはみんなに自慢できる。やりがいがある。(山本会長)

→ICT教育は進めていかなくてはならないが、昔から変わらない学び方も外さないようにしていきたい。(校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

#### (4) 学校運営協議会の自己評価

議長より、学校運営協議会の自己評価について、事前に委員のみなさんから提出いただいた記述をまとめたものである、情報発信はまだ不十分なので今後も細江中をPRしていきたいと思う、と説明があった。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

#### その他報告事項等

##### ① 夢育やらまいか事業CS加算分の報告について

教頭より夢育やらまいか事業CS加算分について、第1回協議会で議決された通り使用した旨、報告があった。

##### ② 令和7年度学校運営協議会の日程について

令和7年度の日程について確認した。

##### ③ 部活動の地域移行について

現段階では以前に示した方針と変わりはないが、令和8年度に向けて、学校運営協議会のみなさまからご意見をいただき、運営体制について一緒に考えていきたいと校長より報告があった。